

平成25年度第2回多治見市新火葬場建設検討委員会（会議録）

日 時 平成25年12月13日（金）13時30分～14時50分

場 所 市役所2階大会議室

出席者 （委員）片山委員長、前田副委員長、豊田委員、春田委員、宮島委員、渡邊委員
（事務局）水野環境文化部長、堀江5大プロジェクト建設事務局長、
伊藤環境課長、他4名

議 題 1 新火葬場建設に対する地元説明等の状況

- | | |
|---------------------|--------|
| 1.大藪町第5町内班長会 | 8月26日 |
| 2.迫間川整備測量設計、他 | 9月～ |
| 3.第20回第30区新火葬場対策委員会 | 9月26日 |
| 4.大藪町第5町内班長会 | 11月 7日 |
| 5.進入道路工事 | 11月～ |
| 6.第1回第30区活性化委員会小委員会 | 12月 2日 |
| 7.用地交渉 | |
- 2 建築・造成設計の策定状況
- 3 進入道路の工事状況
- 4 希少生物の移植等の状況
- 5 その他

○部長あいさつ

○委員辞任の報告（臨時）

事務局 平成25年10月21日付で笠倉委員より一身上の都合により「辞任願」の提出があった。このことを受け、多治見市は平成25年10月31日付で辞任を承認した。また、新たに委員は補充せず現委員数（6人）で進めていくことでよろしいか、当委員会としての確認をお願いしたい。

委員長 平成22年の委員会設置当初からたいへんお世話になった笠倉委員からの辞任申出について、事務局から報告があったが当委員会として承認すること。また、新たに委員は補充せず現在の委員で当委員会を進めていくことについて、各委員の意見等あればお願いしたい。

全委員 意見等なし

委員長 笠倉委員の辞任、及び新たな委員は補充しないことを当委員会として承認した。今後はこの体制で進めていくのでよろしく願います。

○委員長あいさつ

○議題

1 新火葬場建設に対する地元説明等の状況

→事務局より前回の委員会以降の進捗状況について説明

- ・短期的要望 大藪町第5町内会の道路改修工事や迫間川改修設計を進めている。
- ・中長期的要望 第30区活性化委員会を設置して対応していくことで合意。小委員会を開催した。

委員長 約100項目の要望事項については、「市と地元が良好な関係で順次進めている」と判断できるが、各委員の意見等あればお願いしたい。

全委員 意見等なし

事務局 状況報告を終了する。

2 建設・造成設計の策定状況

→5大プロジェクト建設事務局より現段階での策定状況を説明

- ・地元からの要望による火葬場を見えにくくする方法として、次の2点を行う。
 - ① 建物は国道248号線側に寄せて設置する。
 - ② 農道側に2m程度の高さで土手を設置し、内側の駐車場敷地へ高木を植栽する。
- ・水害対策として普段は景観を備えた調整池を設置する。
- ・前委員会でも意見をいただいたが、バリアフリーの観点からもトイレ等機能の分散化を進めていく。授乳室と更衣室を新たに設置していく考え。
- ・式場は可動間仕切りを設置することで家族葬に対応するとともに、個人のプライバシーの保護が可能となる。

委員 前委員会で意見のあった障害を持った子どもに対するガラス扉への検討はされたのか。外へ飛び出して車との接触事故が心配。

事務局 現段階では、風除室への対応として扉のタッチ方式や、外を見えにくくするシールを貼るなど、法的な事も含めてできることは実施していく考え。

委員 以前に新火葬炉の排気について、同じ火葬炉メーカー（新火葬炉）を使用している施設へ確認することになっていたが、結果はどうだったのか。

事務局 問題ないとの返事を得た。

委員 了解した。

委員 完成後、施設内に地元（市民など）の作品など展示する考えはあるのか。

事務局 今後の検討（ギャラリー的な運用）となる。他市では火葬場内の待合ロビーを利用してコンサートを開催している事例もある。

委員 次の3点について確認したい

- 1.排気の臭いは問題ないか
- 2.待合室など児童への対応について（周景池に転落しないか心配）
- 3.迫間川の改修は行うが、災害時用として火葬場敷地内に冠水地は設置するのか

事務局 排気の臭いについては、地元からも強い要望を受けている。新火葬炉は再燃焼炉やバグフィルターを備えるため、市で設定した排出ガスの基準を十分にクリアするもので

あり問題はないものと考えている。同じ火葬炉メーカー（新火葬炉）を使用している施設へ確認したが、臭いに関する苦情はないとのこと。

待合室での児童への対応については、ガラス製で高めの手すりを設置していく考え。

また、一般者が散策できる場所など、管理区分についても検討していく。

災害時用として火葬場敷地内に冠水地を設置することについては、周景池に加え山林周りに土手を設置、駐車場の一部を利用して合計 2,900 m³の調整池機能を計画している。

3 進入道路の工事状況

→ 5 大プロジェクト建設事務局より工事の進捗状況について説明

- ・交差点改良に伴う県道の拡幅工事（右折車線設置）、水路の改修、進入路設置と工事を 3 段階で進め 3 月末完成の予定で作業を進めている。現在、進入路に係る樹木を伐採した。

委員 意見等なし

4 希少生物の移植等の状況

→ 事務局より種子の採取や昆虫の捕獲など移植作業状況について説明

- ・植物は 2 種類（イヌセンブリ、ヘビノボラズ）

イヌセンブリ：ため池反対側の国道 248 号線沿いと大薮ため池内に種子を蒔き移植。

ため池にあるイヌセンブリと同様な葉（ロゼット）が確認できた。

ヘビノボラズ：株ごと掘り取り、ため池反対側の国道 248 号線沿いへ移植した。

- ・動物（昆虫）は 1 種類（ヒメタイコウチ）を国道 248 号線沿いに移植した。
- ・希少生物（動植物）は、移植先での生息状況を継続して調査、確認していく予定。また、新火葬場完成後に生息可能な場所があれば、敷地内に戻していきたいと考えている。

委員 今回の希少生物は、移植先での生育が確認できたものがあり、成果があったと思う。

5 その他

→ 事務局より今後の委員会への報告や確認のあり方、開催日程の時期について説明

委員長 この建設検討委員会の立場は、最終的な新火葬場の設計や建設に関することを承認するものと認識している。詳細な作業は事務局や個別の委員で地元と協議し進めていただきたい。必要に応じて委員会を開催し、最終的に内容の確認と承認していくことで各委員よろしいか。

全委員 意見等なし